

滋賀陸協広報

一般財団法人 滋賀陸上競技協会 〒520-0037 大津市御陵町 4-1 皇子山陸上競技場内 2-1 室 Tm/fax077-527-3925 http://srkshiga.com

一般財団法人滋賀陸上競技協会 専務理事 坂 一郎

新型コロナ感染拡大が止まぬ中で初秋を迎えましたが、会員(登録者)の皆様、いかがお過ごしでしょうか。 全国高校総体陸上競技大会、全国中学校陸上競技選手権大会等全国大会は開催され、中学生高校生の若い力が 発揮されました。しかし、開催1か月前に突如発表されました三重国体中止は、選手や指導者に困惑と悔しさが 残る結果となりました。特に、国体での活躍を期待しておられたであろう少年の部に出場予定であった選手の保 護者の皆様には、期待を裏切るような結果となり、大変恐縮に存じております。

さて、1年先送りとなった滋賀国民スポーツ大会もあと3年半後となりました。彦根の新陸上競技場の工事も順調に進んでおり、8月末には、競技場の骨格も相当出来上がっております。来年の12月には日本陸連公認競技場として完成の予定です。

国スポに向かってのハード面は予算との戦いの中で進捗状況がはっきりしてきました。そして 26 年には全国 高校総体陸上競技。27 年には全国中学陸上競技選手権大会が滋賀県で開催される予定です。3 つの全国大会を開催する視点からの競技運営(情報処理システム機器を駆使した運営)、審判員構成(技術の向上・資質の向上)、といったソフト面での対応が相当遅れております。3 年間で研修と研鑽を重ね、まず国スポを迎えなければなりません。施設と選手は何とかなったが、「猫に小判」では・・・・と心配しています。審判員皆様の"心意気"を期待します。

三重国体の中止は、すべての競技団体にとって残念なことではありましたが、国体に入賞・出場を目指しておられる選手の皆さんには、来年の栃木国体、さらには滋賀国スポを目標に努力を重ねていっていただきたいと願っております。

陸上シーズンも後半に入りますが、全国小学生大会、都道府県対抗男子・女子駅伝大会、全国高校駅伝大会、 全中駅伝大会、クロカン中学選手権大会は、開催予定です。滋賀の若い力が発揮できますことを期待して広報第 8号挨拶といたします。

【 強化委員会 】

《 三重とこわか国体中止が決定 》

2021 年度シーズン前半、順調に競技会が開催されました。日本陸上競技選手権大会にて、山本亜美選手(立命館大学)が 400mH で優勝、壹岐あいこ選手(立命館大学)が 100m で 2位、200m で 4位など、多数の選手が輝かしい戦績を残してくれました。

また、全国高校総体では、石田さつき選手(大津商業高)が 5000mW で 2 位になるなど、高校生も多数の選手が全国の大舞台で大活躍をしてくれました。

8月上旬、全国の舞台に出場・活躍してくれた選手を中心に、三重とこわか国体の選手を選出しました。先ほども挙げたように、今年は全国大会で活躍をした選手が多数おり、最強チームで三重に乗り込む予定でした。8

月14日には初顔合わせとなる結団式を開き、23・24日に布引運動公園陸上競技場にて、1回目の国体合宿を開催しました。成年選手もたくさん参加してくれ、特にリレーチームは成年選手と少年選手が交流をしつつ、決勝で戦う為の準備を良い雰囲気で作ってくれました。その他の選手は、各々の調子を確認しつつ今、必要な練習を取り入れるなど、三重国体に向け良いスタートが切れたのですが・・・。

残念ながら、8月26日に国体中止が決定されました。二年連続中止。2025年に滋賀国スポを控える本県としては、チームを作っていく上で大変に厳しい決定ではありますが、今のこの状況では仕方がありません。この中止決定に挫けず、2025年に向け各々ができることを考え、準備を進めていきたいと思います。来年は無事に開催されることを祈りながら・・・。

今後も多くのご声援をよろしくお願いいたします!

選手の皆さんは、後半シーズン・来年に向けて準備をし、いい結果が残せるよう頑張ってください。

全国大会入賞者

<日本陸上競技選手権大会> 走高跳 瀬古 優斗 5位 円盤投 飛川 龍雅 8位 100m 壹岐あいこ 2位 200m 壹岐あいこ 4位 400mH 山本 亜美 優勝 円盤投 清水 麻衣 7位 棒高跳 南部 珠璃 6位 <U20 日本陸上競技選手権大会:
400m 森本 錬 3位
110mH 太田 彪真 8位
三段跳 西藤 我空 8位
やり投 山田 隼人 3位
パマー投 杉野 樹里海5位



<国体合宿の様子)





【 普及委員会 】

■SGH 滋賀県小学生春季記録会(2021 年 5 月 23 日)

SG ホールディングス株式会社様にご協賛いただき、今年度より新たに小学生の記録会が増えました。場所は SG ホールディンググループの守山陸上競技場。初開催であることや感染症拡大防止の点を踏まえ、今回は小学 6 年 生男女を対象に、100m走・1000m走・4×100mリレーのみ行いました。216名の選手が参加し、それぞれが力

を発揮しました。各種目3位入賞の選手にはメダルが送られました。





■全国小学生滋賀県大会(2021年6月27日)





全国小学生大会出場者一覧

出場種目 氏名 所属

男子5年100m 森 玄親 ランプロアスリートクラブ

女子5年100m 向井 瑠海 東近江陸上スポーツ少年団

男子6年100m 寺村 陸甲賀JAC

女子6年100m 薬師寺 愛葉 草津JAC

男子コンバインドA木村 勇歩甲賀 JAC女子コンバインドA瀬戸口 桜栗東陸上教室男子コンバインドB國松 滉 ウィンドラン陸上クラブ女子コンバインドB松田 天音安土八幡陸上クラブ

【 高体連 】

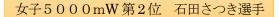
<2021 年度全国高等学校総合体育大会 結果>

6月17日~20日に神戸ユニバー記念競技場において行われた、近畿 IH 地区予選において、個人種目では男子12名、女子6名、計18名、リレー種目では比叡山高校が男子4×100mR 及び男子4×400mR、立命館守山高

校が女子4×400mRで全国IHへの出場権を獲得しました。

全国 IH は 7 月 28 日~8 月 1 日に福井県営陸上競技場 9.98 スタジアムにおいて行われました。結果は、男子 200m において横山大空選手(比叡山)が 21.01(+3.1)で 7 位、男子やり投において出路仁斗選手(八幡)が 62m44 で 5 位、男子ハンマー投において吉岡暉人選手(滋賀学園)が 58m84 で 8 位、女子 100m において奥野由萌選手(彦根翔西館)が 11.85(-0.2)で 6 位、女子 5000mW において石田さつき選手(大津商業)が 23 分 12 秒 96 で 2 位、青谷紗希選手(守山)が 23 分 49 秒 04 で 8 位と、多数の選手が入賞するという活躍をみせました。また、女子 100m で入賞を果たした奥野選手は、準決勝において 11.83(+0.3)という滋賀県高校新記録を樹立しました。







男子やり投 第5位 出路仁斗選手

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、シーズン前半は様々な感染症対策を講じながら、無事に開催された大会もありました。高体連を支えて下さる皆様にも、応援の自粛等様々な場面においてご協力いただき、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中止を余儀なくされる試合もありますが、できる限りの取り組みをしていきたい所存です。今後とも、高体連の活動への応援、サポートよろしくお願いいたします。

【 中体連 】

8月17日~20日に茨城県にある笠松運動公園陸上競技場にて、第48回全日本中学校陸上競技選手権大会が行われました。新型コロナウィルス感染症対策として、様々な制限ある中での大会でしたが、大会直前に抗原検査もしくは PCR 検査を受け陰性証明を提出しての出場となり選手や顧問、保護者の方には奔走していただくこととなりました。

また今大会より、熱中症対策等の観点から準決勝が行われない競技日程が組まれ、短距離や障害種目においては、風の影響が大きく左右される結果となりました。

女子 1500m に出場した森谷心美選手 (立命館守山中・3年) が終始先頭を引っぱる、自らの強みを発揮する レース運びで、4′28″71 という素晴らしいタイムで、見事4位入賞を果たしてくれました。

今後も秋のトラックシーズンや駅伝の活躍を願い、森谷選手に続く中学生アスリートが出てきてくれることを 期待しています。

【 マスターズ 】

2021 年度滋賀スポレク陸上競技大会

東近江市布引陸上競技場

2021 年 5 月 30 日 (日)、滋賀スポレク陸上競技大会が開催されました。(昨年は、コロナ感染予防のため中止となっています。) コロナ禍の中、滋賀マスターズ所属の選手のみ受付、体調管理チェックシートの提出、関係者以外の入場制限などコロナ対策をした上での開催となりました。



甲賀市陸上競技場

他府県の大会等が中止になる中、会員のみなさんの活動機会を持ちたいと、今年もスペシャルデーが企画されました。7月17日(土)、20代から80代までの幅広い層から約40名近くの参加がありました。コロナ禍の中でも、皆さんの熱心に陸上競技に取り組まれる姿と笑顔が見られました。

新体力テスト



午後1時30分からは、文科省が出している「新体力テスト」の要項 に従って体力測定が行われました。その日のうちに全国記録に基づき総合評価体力年齢などが記された結果記録表が個人に手渡されました。今後の健康・体力強化に向けて、大いに参考となることと思われます。

合同練習会

3 時過ぎからは、合同練習会が行われました。 前半は、ミニハードルを使って体の動きづくり。 後半は、短距離・中長距離・投てき・跳躍それぞれ のパートに分かれての練習でした。

普段顔を合わす機会が少ない別パート会員相互の 交流が図られました。



[編集後記]

シーズンの前半は無観客ながら競技会を開催することができました。夏には緊急事態宣言が発令され競技会を中止せざるを得ない状況になり、昨年に引き続き厳しい運営となっております。陸上競技を愛する方々には苦しい思いをしておられることと思いますが、少しでも活躍できますよう祈っております。